

# Adipose Insulin Resistance and Decreased Adiponectin Are Correlated With Metabolic Abnormalities in Nonobese Men

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2023-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木屋, 舞 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002969">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002969</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2654 号

Adipose Insulin Resistance and Decreased Adiponectin Are Correlated With Metabolic Abnormalities in Nonobese Men

非肥満日本人男性において、脂肪組織インスリン感受性の低下と血中アディポネクチン値の低下は代謝障害と関連する

木屋 舞 (きや まい)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、脂肪組織の「質」の指標となる「脂肪貯蔵機能」や「アディポネクチン (AN) 濃度」と非肥満アジア人の代謝障害の関連性を明らかにするために、BMI が正常範囲内 (21 ~ 25 kg/m<sup>2</sup>) の非肥満の日本人男性 (94 名) を対象に、脂肪組織インスリン感受性 (ATIS) ・ AN の中央値で 4 群に分け、その脂肪分布や臨床的特徴を比較した。前者の測定には 2-step 高インスリン正常血糖クランプ法を用いた。全被験者の平均年齢 41.9 歳、BMI 23.5 ± 1.0 kg/m<sup>2</sup>、血中 AN 1.5 ± 1.2 μg/mL、ATIS 4.1 ± 1.3 %/μU · mL<sup>-1</sup>であった。どちらも脂肪組織の機能を示すマーカーであるにも関わらず、AN と ATIS 同士の相関は弱かった (r = 0.25, P = 0.016)。高 ATIS 群間では AN 値と代謝的特徴との関連は認めず、低 ATIS ・ 低 AN 群では、高 TG ・ 低 HDL-C 血症 ・ 脂肪肝の相加的 ・ 相乗的増悪を認めた。これらの代謝異常は BMI ・ 体脂肪率 ・ VO<sub>2peak</sub> との関連が知られているが、重回帰分析の結果、それぞれ ATIS は TG ・ HDL-C ・ 脂肪肝の、AN は TG ・ HDL-C の、BMI などの代謝マーカーと独立した説明因子であることを明らかにした。本研究結果は、非肥満の日本人男性において「脂肪の量」ではなく「脂肪の質」が、脂肪肝や脂質異常症とより本質的に関連している可能性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。